

令和 8 年 度

九州大学大学院理学府修士課程

学 生 募 集 要 項

目 次

1. 募 集 人 員
2. 出 願 資 格
3. 出願資格の事前審査
4. 出 願 方 法
5. 入学試験方法とその概要
6. 合 格 者 発 表
7. 一般選抜試験に関する注意事項
 - (1)物理学専攻
 - (2)化学専攻
 - (3)地球惑星科学専攻
8. 自己推薦方式による選抜試験に関する注意事項
9. TOEIC・TOEFLに関する注意事項
10. 入学手続きの際に納付する経費等
11. 障害等のある入学志願者について
12. 長期履修制度について
13. 備 考
14. 各専攻のアドミッションポリシー
15. 九州大学大学院理学府概要
16. 2つの専攻横断型プログラム
 - 入 学 確 約 書
 - 出願資格事前審査申請書
 - 推 薦 書
 - 学 校 教 育 等 履 歴 書
- ◆ 伊都キャンパスへのアクセス方法



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

1. 募 集 人 員

[illegible]

★印のついた研究グループは令和8年度の募集をしないので志望しないこと。

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学の卒業者及び令和 8 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び令和 8 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育制度における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 8 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本学府が個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 8 年 3 月 31 日において 22 歳に達した者
- (11) 令和 8 年 3 月 31 日までに次のいずれかに該当する者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた者
 - ①外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - ②外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - ③我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

3. 出願資格の事前審査

出願資格(9),(10)又は(11)により出願しようとする者は、願書を受理する前に出願資格の有無に関する審査を行いますので、次により書類を取りそろえ事前審査受付期間内に理学部等教務課学生支援係へ提出してください。(郵送の場合は、必ず書留郵便とし、封筒表面に「事前審査申請書類在中」と朱書してください。)

(1) 事前審査に必要な書類

出願資格(11)により出願しようとする者

- ① 出願資格事前審査申請書(本学府所定の用紙を使用してください。)
- ② 出身大学長(学部長)が発行する成績証明書
- ③ 推薦書(本学府所定の用紙に学部長、学科長等が記入の上、厳封)
- ④ 志望理由書(A4判用紙1枚(1,000字程度)、博士後期課程進学の有無も記入してください、様式自由。)
- ⑤ 出願資格事前審査結果通知用封筒(封筒(長形3号)に宛先を明記し、郵便切手110円分を貼ってください。)

出願資格(9),(10)により出願しようとする者

- ① 出願資格事前審査申請書(本学府所定の用紙を使用してください。)
- ② 学校教育等履歴書(本学府所定の用紙を使用してください。)
- ③ 当該学校等の成績証明書
- ④ 大学を卒業した者と同等以上の学力があることを証明できる書類(例えば研究論文、特許公報、英語能力の証明書、各種資格取得証明書、国際的活動経験や実務経験を証明する書類等)
- ⑤ 志望理由書(A4判用紙1枚(1,000字程度)、博士後期課程進学の有無も記入してください、様式自由。)
- ⑥ 出願資格事前審査結果通知用封筒(封筒(長形3号)に宛先を明記し、郵便切手110円分を貼ってください。)

(2) 事前審査受付期間

令和7年6月9日(月)から同年6月13日(金)午後5時まで
(郵送の場合も同日同時刻までに必着とします。)

(3) 事前審査の結果は、令和7年6月20日(金)頃に、本人宛に通知します。

4. 出 願 方 法

出願期間(インターネット出願システムへの入力期間)

令和7年6月23日(月)午前10時から同年6月27日(金)午後5時まで

(1) 出願手続等

出願手続は、上記期間中にインターネット出願システムへの入力により行います。

https://www.sci.kyushu-u.ac.jp/admission/daigakuin_oshirase.html

- ① 出願期間中に、出願完了のボタンを押し、出願を完了させてください。出願完了のボタンを押さないと、出願が完了したことになりません。出願手続き完了後、インターネット出願システムに登録したメールアドレス宛に、出願が完

了した旨のメールが届きますので、メールが届いたことを必ず確認してください。

- ② 出願完了のボタンを押す前に上記出願期間が過ぎた場合には、出願は受け付けられませんので、注意してください。
- ③ 出願書類等に不備のあるものは受理しません。
- ④ 出願後は、出願の取下げ及び出願書類等の記載事項の変更を認めません。また、出願書類等及び入学検定料は、返還しません。
- ⑤ 願書受付締切り後の出願資格確認を経て、出願を受理した場合は、インターネット出願システムにより受験票を表示します。受験票の表示開始は、インターネット出願システムに登録したメールアドレス宛にお知らせします。
なお、受験にあたり必要な情報はインターネット出願システムに登録したメールアドレス宛てにお送りしますので、出願後はメールをよく確認してください。
- ⑥ 受験票は、インターネット出願システムからダウンロードし、受験当日までに必ず印刷しておいてください。

(2) 提出書類

※アップロードする書類は、明瞭なものとしてください。

※アップロード可能な各ファイルサイズの上限は、それぞれ 20 MB です。

☐	①入学願書	インターネット出願システムに必要事項を入力すること。
☐	②志望専門分野等調査	
☐	③顔写真データ	インターネット出願システムにアップロードすること。 ・3か月以内に撮影した志願者本人が半判別できるもので、正面上半身無帽（サイズの比率は縦4：横3）のものとする。 ・使用できるデータは、png、jpg、jpeg 形式のものとする。
☐	④入学検定料 (検定料 30,000 円)	振込の控えを PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。 検定料の振込方法については、「(3) 入学検定料」および本要項に掲載の「九州大学入学検定料払込方法」を参照すること。
☐	⑤志望理由書	PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。 【自己推薦方式による選抜試験希望者及び化学専攻出願者のうち、現在九州大学理学部化学科に在籍していない者のみ】 詳しくは11 頁（化学専攻は9 頁）をご確認ください。
☐	⑥卒業（見込）証明書 又は 学位授与（見込）証明書	出身大学が発行するもの、又は大学評価・学位授与機構が発行する学位授与（見込）証明書 (注) 出願資格(9),(10)又は(11)により出願する者は除きます。 PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。 ※ 九州大学理学部在籍中で令和 8 年 3 月卒業見込みの者又は九州大学理学部卒業者は提出不要です。 ※ 入学手続の際は、原本の提出が必要です。
☐	⑦成績証明書	出身大学長（学部長）が発行するもの（注）出願資格(10)により出願する者は除きます。 PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。 ※ 九州大学理学部在籍中で令和 8 年 3 月卒業見込みの者又は九州大学理学部卒業者は提出不要です。 ※ 入学手続の際は、原本の提出が必要です。
☐	⑧TOEIC 又は TOEFL の 成績証明証 ※化学専攻は TOEIC のみ	PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。 併せて、受験時に成績証明証の原本を持参してください。 (願書提出時に成績証明証が間に合わない場合も同様、受験時に持参すること。) なお、出願システムにアップロードした成績証明証の得点より高得点の原本がある場合には、当日原本と差し替えることができます。 また、TOEIC を受験した場合は、デジタル公式認定証を印刷したものを、紙媒体の認定証と同様に

		原本として受け付けます。 TOEFLを受験した場合、TOEFL運営事務局が発行・郵送した受験者用控スコア票 (Test Taker Score Report) およびETS アカウントよりダウンロードした Test Taker Score Report (PDF) を印刷したものを、原本として受け付けます。なお、My Best Score は認めません。 <u>詳しくは 9. TOEIC・TOEFL に関する注意事項を参照してください。</u>
☐	⑨入学確約書	PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。 【自己推薦方式による選抜試験希望者（物理学専攻）のみ】 詳しくは「8. (4)-1」(11 頁)をご確認ください。

(3) 入学検定料

納付可能期間 令和 7 年 5 月 16 日（金）～ 令和 7 年 6 月 27 日（金）

入学検定料は、e-支払いサイト (<https://e-shiharai.net/>) へ事前申込の上、①コンビニエンスストア、または②コンビニエンスストア以外（クレジットカード等）により納付すること。

なお、振込手数料は、志願者が負担してください。

【① コンビニエンスストアで決済した場合】

「入学検定料・選考料・取扱明細書」を PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。

【② コンビニエンスストア以外で決済した場合】

「申込内容照会」の照会結果を PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。

(お願い) e-支払いサイトにおける手順等に関するご質問については、同サイト上の「FAQ」または「よくある質問」(<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>) を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。

5. 入学試験方法とその概要

学業成績、人物ともに優れ、将来、下記の専攻分野において貢献できる者を、学力検査、口頭試問、および提出書類等により総合的に審査します。

物理学専攻			化学専攻	地球惑星科学専攻
一般選抜	検査方法	学力検査及び口頭試問	学力検査及び口頭試問	学力検査及び口頭試問
	日程・場所	8月25日（月）午後1時から 8月26日（火）午前9時から正午まで	8月20日（水）午後0時20分 から	8月19日（火）午前9時30分から
		8月27日（水）午前9時30分から 口頭試問受験資格者全員に対して行います。 口頭試問受験資格者は、学力検査に基づき決定し、 8月27日（水）午前9時にWEST 1号館C棟2階エントランスホールに掲示します。	8月21日（木）午前9時30分から 九州大学理学部化学科以外からの受験者全員に行います。	8月20日（水）午前9時30分から 口頭試問受験資格者は、学力検査の結果により決定し、 8月20日（水）午前9時にWEST 1号館C棟2階エントランスホールに掲示します。
	学力検査概要	「物理・英語」 (1)物理学（力学、電磁気学、量子力学、熱・統計力学、物理数学など）のうちから基礎的な事項について検査します。 各試験科目のおおよその出題範囲は、九州大学大学院理学府物理学専攻のホームページに記載しています。 (https://www.phys.kyushu-u.ac.jp) (2)英語：受験者の TOEIC 又は TOEFL の成績をもとに評価します。	「化学・英語」 (1)化学（無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、構造化学、生物化学の中から任意に3科目を選択。） (2)英語：受験者の TOEIC の成績をもとに評価します。 (3)入試に関連する詳しい情報は、九州大学大学院理学府化学専攻のホームページに記載しています。 (https://www.scc.kyushu-u.ac.jp/entrance2.html)	(1) 地質学、古環境学・古生物学、岩石学・鉱物学、化学、熱力学、力学、電磁気学、物理数学の8科目から任意に2科目選択。但し、太陽地球系物理学、宇宙地球電磁気学、大気圏電離圏融合宇宙天気科学、大気流体力学、大気流体モデリング、気象学・気候力学、地球深部物理学、地球内部ダイナミクス、観測地震・火山学の各研究グループを第1、第2志望研究グループに含むものは、熱力学、力学、電磁気学、物理数学の4科目の中から少なくとも1科目選択とします。 各科目のおおよその出題範囲を九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻の次のホームページに記載しています。 (https://www.geo.kyushu-u.ac.jp) (2) 英語：受験者の TOEIC 又は TOEFL の成績をもとに評価します。
	注意事項	7～8頁、12頁を参照してください。	9頁、12頁を参照してください。	10頁、13頁を参照してください。
		詳細は学力検査前日WEST 1号館C棟2階エントランスホールに掲示します。		
自己推薦方式による選抜	共通事項	一般選抜志願者の中で希望する者に対して口頭試問を行い、合格者に対しては一般選抜の筆記試験を免除します。 免除されなかった者は一般入試の学力検査などを別途手続きせずに受験できます。 免除された者は学力検査などを受験できません。		
	考查方法	物理学専攻の考查方法の詳しい内容については、九州大学大学院理学府物理学専攻のホームページに記載しています。 (https://www.phys.kyushu-u.ac.jp) ※英語：受験者の TOEIC 又は TOEFL の成績をもとに評価します。 ※九州大学理学部物理学科（物理学コース）を卒業・卒業見込みの者は、自己推薦入試を受験できません。必ず一般選抜を受験してください。	入試に関連する詳しい情報は、九州大学大学院理学府化学専攻のホームページに記載しています。 (https://www.scc.kyushu-u.ac.jp/entrance2.html) ※英語：受験者の TOEIC の成績をもとに評価します。	入試に関連する詳しい情報は、九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻のホームページに記載しています。 (https://www.geo.kyushu-u.ac.jp) ※口頭試問では基礎学力を確認する問題を解かせることがあります。 ※英語：受験者の TOEIC 又は TOEFL の成績をもとに評価します。
	日程	7月26日（土） 午前9時から午後6時まで（予定）	7月26日（土） 午前9時から午後6時まで（予定）	7月26日（土） 午前9時から午後6時まで（予定）
	注意事項	11頁を参照してください。	11頁を参照してください。	12頁を参照してください。
	場所	九州大学大学院理学府		

6. 合格者発表

9月4日（木）午前10時

ウエスト1号館C棟2階エントランスホールに合格者の受験番号を掲示し、合格者宛て「合格通知書」をインターネット出願システムに登録された住所へ郵送します。

また、理学府のホームページにも合格者の受験番号を掲載します。

なお、合格、不合格についての問い合わせには一切応じません。

7. 一般選抜試験に関する注意事項

一般選抜は、学力検査により実施します。

(1) 物理学専攻

- a. 専門分野のうちから、第1、第2志望を指定することができます。さらに、第3志望として「広域志望」を希望することができます。

なお、「広域志望」を希望した者は、第1、第2志望の専門分野以外の各専攻の専門分野に入学を許可されることがあります。

- b. 志望研究グループを指定することができます。

- c. 志望専門分野等調査の登録に当たっての注意事項

インターネット出願システム上で、志望専門分野等調査の志望専門分野欄に、「15. 九州大学大学院理学府概要」の表に従って、物理学専攻の専門分野のうち2つまでを第1、第2志望として登録してください。さらに志望研究グループを志望する順に上から下に登録してください。専門分野のすべての研究グループを登録する必要はありません。

- d. 学力検査英語科目は、受験者のTOEICまたはTOEFLの成績をもとに評価します。「9. TOEIC・TOEFLに関する注意事項」（12頁）を参照してください。

物理学専攻

専門分野	研究グループ
粒子宇宙論	素粒子理論
〃	理論核物理
〃	量子宇宙物理理論
〃	粒子系理論物理学
粒子物理学	素粒子実験
〃	実験核物理
〃	粒子系実験
物性基礎論	物性理論
〃	★統計物理学
〃	★数理物理学
〃	凝縮系理論
量子物性	磁性物理学
〃	創発量子物性
〃	固体電子物性
〃	光物性
複雑物性	複雑物性基礎
〃	複雑生命物性

★印のついた研究グループは令和8年度の募集をしないので志望しないこと。

志望専門分野等調査における志望専門分野の登録例

登録例 1)

	志望専門分野	志望研究グループ
第 1 志望	粒 子 宇 宙 論	素 粒 子 理 論 理 論 核 物 理 量 子 宇 宙 物 理 理 論 粒 子 系 理 論 物 理 学
第 2 志望	粒 子 物 理 学	素 粒 子 実 験

登録例 2)

	志望専門分野	志望研究グループ
第 1 志望	量 子 物 性	磁 性 物 理 学 固 体 電 子 物 性
第 2 志望	複 雑 物 性	複 雑 物 性 基 礎 複 雑 生 命 物 性

(説明)

登録例 1 第 1 志望として粒子宇宙論，第 2 志望として粒子物理学を選択し，第 1 志望専門分野内の研究グループの志望順位が，素粒子理論，理論核物理，量子宇宙物理理論，粒子系理論物理学である場合の登録例。

登録例 2 第 1 志望として量子物性，第 2 志望として複雑物性を選択し，第 1 志望専門分野内の研究グループの志望順位が磁性物理学，固体電子物性の順，第 2 志望専門分野内の研究グループの順位が複雑物性基礎，複雑生命物性の順である場合の登録例。

(2) 化学専攻

- a. 研究グループのうちから、第1から第5志望を指定することができます。
- b. 志望専門分野等調査の登録に当たっての注意事項
インターネット出願システム上で、志望専門分野等調査の志望研究グループ欄に、「15. 九州大学大学院理学府概要」の表に従って、化学専攻の研究グループのうち5つまでを第1から第5志望として登録してください。第1と第2志望は登録必須項目です。
- c. 現在、九州大学理学部化学科に在籍していないものは、前記「4.(2) 提出書類」に記載している、A4判用紙1枚程度の志望理由書（本人氏名、今まで勉強してきたことと志望動機との関連、博士後期課程への進学希望の有無を含む。様式自由）をPDFにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。
- d. 学力検査英語科目は、TOEICの成績をもとに評価します。「9. TOEIC・TOEFLに関する注意事項」（12頁）を参照してください。

化学専攻

専門分野	研究グループ	専門分野	研究グループ
無機・分析化学	錯体化学	有機・生物化学	触媒有機化学
	錯体物性化学		生物有機化学
	生体分析化学		動的生命化学
	分光分析化学		構造機能生化学
	放射化学		量子生物化学
	機能性錯体化学		生体分子化学
物理化学	分散系物理化学		有機反応化学
	理論化学		生体触媒化学
	量子化学		生体分析化学(兼担)
	光物理化学	先導物質化学	ナノ物性化学
	構造化学		光機能物質化学
	ソフト界面化学		ナノ機能化学
			構造有機化学

志望専門分野等調査における志望研究グループの登録例

登録例)

	志望研究グループ
第1志望	錯体化学
第2志望	光物理化学
第3志望	分散系物理化学
第4志望	触媒有機化学
第5志望	ナノ物性化学

(説明)

登録例 第1志望として錯体化学、第2志望として光物理化学、第3志望として分散系物理化学、第4志望として触媒有機化学、第5志望としてナノ物性化学、を希望した場合の登録例。

(3) 地球惑星科学専攻

- a. 研究グループのうちから，第1，第2志望を指定することができます。
- b. 志望専門分野等調査の登録に当たっての注意事項
インターネット出願システム上で，志望専門分野等調査の志望研究グループ欄に，「15. 九州大学大学院理学府概要」の表に従って，地球惑星科学専攻の研究グループのうち2つまでを，第1，第2志望として登録してください。
- c. 学力検査英語科目は，TOEIC 又は TOEFL の成績をもとに評価します。「9. TOEIC・TOEFL に関する注意事項」(13 頁) を参照してください。

地球惑星科学専攻

専門分野	研究グループ
流体圏・宇宙圏科学	太陽地球系物理学
〃	宇宙地球電磁気学
〃	大気圏電離圏融合宇宙天気科学
〃	大気流体力学
〃	大気流体モデリング
〃	気象学・気候力学
固体地球惑星科学	地球深部物理学
〃	地球内部ダイナミクス
〃	岩石循環科学
〃	地球進化史
〃	古環境学
〃	火山科学
〃	観測地震・火山学
〃	★地震火山減災科学
太陽惑星系物質科学	惑星系形成進化学
〃	有機宇宙地球化学
〃	地球システム化学
〃	地球内部物質学
地球惑星博物館	地球惑星博物館

★印のついた研究グループは令和8年度の募集をしないので志望しないこと。

志望専門分野等調査における志望研究グループの登録例

登録例)

	志望研究グループ
第1志望	地球惑星博物館
第2志望	太陽地球系物理学

(説明)

登録例 第1志望として地球惑星博物館を選択し，第2志望では，太陽地球系物理学を選択した場合の登録例。

8. 自己推薦方式による選抜試験に関する注意事項

自己推薦方式（筆記による学力検査等を免除する方式）による選抜試験は、学内外の多くの学部・学科から優秀な資質を持つ多様な学生を受け入れることを目的としています。従来の学力検査によらない選抜方法であり、提出書類、面接試験のみによる検査を行い、希望研究室における勉学と研究の適性の有無を基準に可否を判定します。

(1) 提出書類

自己推薦方式による選抜試験受験を希望する者は、「4. (2) 提出書類」に記載されている A4 判用紙 1 枚程度の志望理由書（本人氏名、今まで勉強してきたことと志望動機との関連、博士後期課程への進学希望の有無を含む。様式自由）を PDF にして、インターネット出願システムにアップロードしてください。

(2) 自己推薦方式の進め方及び結果の通知

- a. 出願者から提出された出願書類によって、筆記による学力試験を免除できる可能性がある者を選抜し、自己推薦方式による選抜試験対象者を決定します。自己推薦方式による選抜試験を課すか筆記による学力試験を課すかは、7月11日頃にインターネット出願システム上で通知します。
- b. 自己推薦方式による選抜試験の結果は、試験終了後 2 週間以内にインターネット出願システム上で受験者へ通知します。
- c. 自己推薦方式による選抜試験の結果、筆記試験等を免除されなかった者は、一般選抜試験（物理学：8月25日（月）～8月27日（水）、化学：8月20日（水）～8月21日（木）、地球惑星科学：8月19日（火）～8月20日（水））を別途手続きすることなく受験することができます。一般選抜試験の実施方法は、「5. 入学試験方法とその概要」を参照してください。
自己推薦方式による選抜試験の結果、筆記試験等を免除された者は、それを受験できません。

(3) 自己推薦方式による選抜試験の日時

「5. 入学試験方法とその概要」のとおり

(4) 自己推薦方式による選抜試験を希望する場合の専門分野の志望について

(4)-1 物理学専攻

- ・志望専門分野等調査の第 1 志望に登録した専門分野で自己推薦方式による選抜試験を行います。
各専門分野の口頭試問の方法に関しては、九州大学大学院理学府物理学専攻のホームページに記載していますので、必ず確認してください。<https://www.phys.kyushu-u.ac.jp>
- ・出願は、合格した場合に入学が確約できる者に限りますので、入学確約書を提出してください。また、九州大学理学部物理学科（物理学コース）を卒業・卒業見込みの者は、理学府修士課程物理学専攻の自己推薦入試を受験できません。必ず一般選抜を受験してください。

(4)-2 化学専攻

- ・志望専門分野等調査の志望研究グループの欄には、第 1 志望から第 5 志望まで登録できます。これらは、一般選抜と共通になります。

(4)-3 地球惑星科学専攻

- ・志望専門分野等調査の志望研究グループの欄には、第1志望に加えて第2志望まで登録できます。
これらは、一般選抜の第1志望、第2志望と共通になります。
- ・専門分野の選択にあたっては、「15.九州大学大学院理学府概要」を参照してください。出願手続の前に志望研究グループの教員と研究・教育内容について相談してください。

9. TOEIC・TOEFLに関する注意事項

○物理学専攻

- (1) TOEIC 又は TOEFL の成績証明証の発行が願書提出期間に間に合うように受験してください。
間に合わない場合は、少なくとも受験時（一般選抜試験においては学力検査受験時）に成績証明証（原本）を持参できるよう受験してください。
- (2) (ア) TOEIC Listening & Reading Test, (イ) TOEIC Speaking & Writing Tests, (ウ) TOEFL-iBT のいずれかを事前に受験してください。TOEIC-IP, TOEFL-ITP の成績証明証, 顔写真のない成績証明証及び (ア) ～ (ウ) 以外の成績証明証の提出は認めません。
- (3) 入学試験日から遡って2年以内の TOEIC・TOEFL の成績証明証を有効とします。
- (4) TOEIC の成績証明証は、受験者が自分に最も有利と考える1つを提出してください。なお、インターネット出願システムにアップロードした成績証明証の得点より高得点の原本がある場合には、当日その原本を持参することにより、成績を差し替えることができます。何れの場合も、受験時に原本を持参しなかった場合、英語の成績は0点としますので注意してください。
- (5) 英語試験全般に関する質問がある場合や身体の障害等で TOEIC・TOEFL の受験が困難な場合は、事前に理学部等教務課学生支援係（092-802-4038）へ問い合わせてください。

○化学専攻（TOEFL 試験は対象外）

- (1) TOEIC の成績証明証の発行が願書提出期間に間に合うように受験してください。
間に合わない場合は、自己推薦入試においては口頭試問受験時、一般選抜試験においては学力検査受験時に成績証明証（原本）を持参できるよう受験してください。
- (2) (ア) TOEIC Listening & Reading Test, (イ) TOEIC Speaking & Writing Tests のいずれかを事前に受験してください。TOEIC-IP の成績証明証, 顔写真のない成績証明証及び (ア), (イ) 以外の成績証明証の提出は認めません。
- (3) 入学試験日から遡って2年以内の TOEIC の成績証明証を有効とします。
- (4) TOEIC の成績証明証は、受験者が自分に最も有利と考える1つを提出してください。なお、インターネット出願システムにアップロードした成績証明証の得点より高得点の原本がある場合には、当日その原本を持参することにより、成績を差し替えることができます。何れの場合も、受験時に原本を持参しなかった場合、英語の成績は0点としますので注意してください。
- (5) 英語試験全般に関する質問がある場合や身体の障害等で TOEIC の受験が困難な場合は、事前に理学部等教務課学生支援係（092-802-4038）へ問い合わせてください。

○地球惑星科学専攻

- (1) TOEIC 又は TOEFL の成績証明証の発行が願書提出期間に間に合うように受験してください。
間に合わない場合は、少なくとも受験時（自己推薦入試においては口頭試問受験時、一般選抜試験においては学力検査受験時）に成績証明証（原本）を持参できるよう受験してください。
- (2) (ア) TOEIC Listening & Reading Test , (イ) TOEIC Speaking & Writing Tests, (ウ) TOEFL-iBT のいずれかを事前に受験してください。TOEIC-IP, TOEFL-ITP の成績証明証, 顔写真のない成績証明証及び(ア)～(ウ)以外の成績証明証の提出は認めません。
- (3) 入学試験日から遡って2年以内の TOEIC・TOEFL の成績証明証を有効とします。
- (4) TOEIC の成績証明証は、受験者が自分に最も有利と考える1つを提出してください。なお、インターネット出願システムにアップロードした成績証明証の得点より高得点の原本がある場合には、当日その原本を持参することにより、成績を差し替えることができます。何れの場合も、受験時に原本を持参しなかった場合、英語の成績は原則0点としますので注意してください。
- (5) 受験時まで成績証明証不着などの理由により有効な成績証明証の提出ができない者は、その旨を、試験当日までに、理学部等教務課学生支援係（092-802-4038）へ申し出てください。上記（ア）～（ウ）の受験記録を確認の上、成績証明証提出方法等の指示を行います。
- (6) 英語試験全般に関する質問がある場合や身体の障害等で TOEIC・TOEFL の受験が困難な場合は、事前に理学部等教務課学生支援係（092-802-4038）へ問い合わせてください。

10. 入学手続きの際に納付する経費等

- (1) 入学料 282,000 円（予定）
- (2) 授業料 267,900 円〔年額 535,800 円〕（予定）

上記納付金額は予定であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

- (3) 手続関係

【入学手続き書類の配布】

令和8年2月下旬頃に、合格者宛て入学手続き関係書類をインターネット出願システムに登録した住所に送付します。

【入学手続き期間】

令和8年3月上旬～中旬の間で、1週間程度で設定します。詳細は、入学手続き書類でご確認ください。

11. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、令和7年6月6日（金）までに理学部等教務課学生支援係まで相談してください。

12. 長期履修制度について

本学では、学生が職業を有する、或いは障害がある等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度を導入し

ています。

この制度の適用を申請し認められた場合、標準修業年限分の授業料を長期履修の年数で除した額を毎年納入することになります。

なお、手続等の詳細は、入学手続時に通知します。

13. 備 考

- 出願手続後の書類の変更、検定料の払い戻しはできません。
- 出願書類における個人情報の保護について
 - 1. 出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。
 - (1) 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。
 - (2) 大学の成績証明書を、1年次における授業料免除等の就学支援業務で利用します。
 - 2. 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は、個人が特定できないようなかたちで本学府における入学者選抜に関する調査研究で利用します。
 - 3. 出願書類に記載の個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」その他関連法令に認められている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

(ウエスト1号館A棟3階305号室)

九州大学理学部等教務課学生支援係

TEL. 092-802-4038 (ダイヤルイン)

14. 各専攻のアドミッションポリシー

物理学専攻

私達の世界に存在する物質群は基本的で単純な構成要素が複合的に集合して形成されています。本専攻ではこのような単純から複雑へ至る物質の性質を理論及び実験物理学的手法を用いて研究・教育を行っています。素粒子・原子核などのミクロスケールから固体・液体などのマクロスケール、さらに宇宙スケールに及ぶ幅広い物質系における新しい現象の発見及び解明を通じて、これらの系を支配する普遍的な原理を確立し、当該分野に大きな進歩をもたらすことを目指しています。この過程において、物理学の知識・技能を用いて調査・研究を実施できる能力、国際的視点に立った創造的かつ柔軟な思考力等を修得し、専門性、学際性、研究マネジメント能力、情報発信能力を身に付けた社会の広い分野で活躍できる人材を養成しています。

このような観点から本専攻では十分な基礎学力とそれを応用する柔軟な思考力を持ち、将来研究者、教育者あるいは技術者として人類社会の科学技術の水準の向上を図り、その進歩と持続的発展に寄与する強い意志と適性を持った学生を選抜いたします。以下に述べる筆記及び面接試験により、幅広い自然科学の知識と高い専門性を身につけた将来性のある有望な学生を選抜いたします。

試験には一般選抜試験と自己推薦方式による選抜試験の二通りがあります。前者の試験では物理学の基礎的な知識と応用力等を筆記試験ならびに英語の試験により検査します。さらに、口頭試問による面接試験も実施し、基礎学力、論理的思考能力や研究者としての適性等を検査します。後者の試験は、学内外の多くの物理系の学部・学科から優秀な資質を持つ多様な学生を受け入れることを目的として行われる試験です。この試験では、物理学の基礎的な知識と応用力等を書類審査と面接試験のみによって検定し、筆記試験は課しません。この試験では本専攻の希望研究室における勉学に強い意欲と適性を持ち、筆記による学力検査によらずとも十分な学力を有するとみなされる学生を選抜します。

化学専攻

原子から小分子、複雑な分子、高分子、さらに生体を構成する高分子にいたる様々な階層の物質構成単位の性質や挙動について、それらの単独から集合体に至るまでの幅広いスケールで取扱う基本原理を、化学的な物質観に基づいて教育・探求します。最先端の理論及び実験手法を用いることで、独創的な研究を遂行する能力を身につけ、将来、化学の研究、教育、技術開発および生産の分野で活躍できる専門家の育成を目指しています。

このような観点から、化学の分野で将来、指導的役割を果たす研究者、教育者、あるいは技術者として人類社会に貢献したいという強い熱意と適性をもつ学生を募集します。試験には一般選抜試験と自己推薦方式による選抜試験の2通りがあり、幅広い教養、自然科学の基礎学力に加えて、専門化学を習得するために不可欠な基礎学力を持つ志願者を選抜します。前者では外国語（英語）の能力と専門化学の基礎知識等を筆記試験により評価します。一方、後者では、優秀な資質を持つ個性豊かな学生を受け入れることを目的とした書類審査と面接試験による選抜試験を行います。学部で化学を専門とした学生については、外国語（英語）の能力と専門化学の基礎知識に加えて、論理的思考能力や自然現象に対する洞察力を、一方、学部で化学を専門としていない学生に対しては、自然科学の基礎知識の有無と専門化学への適性を判断材料として可否を判定します。

修士課程を修了し、博士後期課程へ進学または入学する場合、総合的な専門化学の知識を広く有し、国際化に対応できる資質と熱意を兼ね備えた学生を選抜します。

地球惑星科学専攻

1. 教育理念・教育目的

本専攻は、地球と太陽系の起源・進化過程、現在の姿、将来像および太陽・惑星・地球システムの複雑な相互関係を理解することをめざしています。そのために、太陽・惑星、惑星間空間、宙空、大気、海洋、地球表層、地球内部を対象として、幅広い視野に立った教育を行っています。きわめて複雑なシステムである地球惑星の起源・進化から、現状・未来にわたる広い時間スケールの現象から問題点を抽出する能力を養成します。その解決に向けた研究の立案・計画、調査・観測・実験・理論・解析にまたがる多彩な手法を学習します。これを通じて、学術的素養とともに多角的・学際的視野の育成を図ります。

2. 求める学生像

本専攻では、以上のような教育理念・教育目的に沿って、修士課程学生として次のような入学者を求めています。

- (1) 地球惑星科学の研究を進める上で必要な基礎学力を十分に習得している人。
- (2) 地球と太陽系の起源・進化、現状、未来および惑星・地球システムにおける自然現象の相互関係を理解しようとする探求心をもっている人。
- (3) 地球惑星の起源・進化から、現状・未来にわたる問題を自立的に研究して独創的・先進的成果を導き、新たな研究分野を開拓・創出しようとする意欲をもって研究者をめざしている人。
- (4) 次代を担う若者の教育・啓発ができる教育者および現代の高度科学技術社会の基盤を地球惑星科学の立場から担うことができる高度専門職業人として社会に貢献したいと考えている人。
- (5) 研究者、教育者、高度専門職業人として、地球惑星科学における幅広くかつ高度な専門性を活かして国際的な場で活躍したいと考えている人。

15. 九州大学大学院理学府概要

〔物理学専攻〕

専攻	専門分野	研究グループ	研 究 内 容	教 員	
				教 授	准 教 授
物 理 学 専 攻	粒 子 宇 宙 論	素 粒 子 理 論	素粒子理論物理学全般にわたる研究（場の量子論，量子異常，格子ゲージ理論，厳密くりこみ群，標準模型を超えた物理，素粒子模型構築とその現象論・宇宙論，超弦理論，素粒子統一理論，カラビ・ヤウコンパクト化，機械学習，量子重力，AdS/CFT対応，量子エンタングルメント，共形ブートストラップ，二次元共形場理論，圏論の対称性，アノマリー，非超対称弦理論とブレーン）。	****鈴木 博	津 村 浩 二 #楠 亀 裕 哉 #KAIDI Justin
		理 論 核 物 理	原子核・ハドロン多体系の理論的研究（少数粒子系量子論，量子反応論，核変換，元素の起源と天体核物理，原子核内の弱い相互作用，多体問題の計算物理）	緒 方 一 介	湊 太 志
		量 子 宇 宙 物 理 理 論	宇宙物理学と量子情報物理の理論的研究（相対論的量子情報理論，量子エンタングルメントと重力の量子性，曲がった時空上の場の量子論，宇宙論，インフレーション宇宙，重力波，重力理論と暗黒エネルギーの検証）。	山 本 一 博	菅 野 優 美
		粒 子 系 理 論 物 理 学	粒子系物理学の理論的研究（ハドロン物理学，素粒子現象論，初期宇宙，弦理論，数理論物理学，理論天文学・宇宙物理学，高エネルギー天体物理学）。	*◆原 田 恒 司 ◆大河内 豊	◆小 島 健太郎 ◆中 里 健一郎
	粒 子 物 理 学	素 粒 子 実 験	LHC や J-PARC をはじめとする最先端の加速器を用いた実験で，素粒子とその相互作用の研究を行い，初期宇宙の謎に迫る。将来実験のための開発研究も行う。	東 城 順 治	音 野 瑛 俊
		実 験 核 物 理	原子核・ハドロン多体系に関する実験的研究（新核種・新元素の合成，原子核のダイナミクス・物性の研究，不安定核・宇宙核物理の研究等），核物理の応用研究（基本対称性，加速器質量分析等），関連する機器開発研究（加速器，粒子分析器，放射線検出器，イオントラップ等）。九大内および学外の加速器施設で実験する。	若 狭 智 嗣 坂 口 聡 志	寺 西 高 一 市 川 雄 一 高 峰 愛 子
		粒 子 系 実 験	粒子加速器施設で生成される量子ビームを用いた素粒子の実験的研究。	◆吉 岡 瑞 樹	◆有 賀 智 子
	物 性 基 礎 論	物 性 理 論	物性理論・統計物理学およびその手法を用いた理論的研究。具体的には， (i) 液晶，高分子，コロイド，アクティブマター，生物系などのソフトマターの統計物理， (ii) ガラス，アモルファスなど非平衡系の相転移現象， 等の研究を行う。	福 田 順 一	松井 淳(講師)
		★ 統 計 物 理 学	統計物理学・物性理論およびその手法を用いた理論的研究。具体的には， (i) 場の量子論を用いた低次元量子系（スピン系，電子系）の理論 (ii) 臨界現象と非線形感受率 等の研究をしている。		*野 村 清 英
		★ 数 理 物 理	無限自由度量子系の数理的研究。		**成 清 修
		凝 縮 系 理 論	量子凝縮系における幾何学的量子現象の理論的研究。特にトポロジカル物質，ディラック・ワイル電子系，分数量子ホール系などにおける特異な量子輸送，磁性，スピントロニクス，非可換エニオンに関する新現象の探索。	野 村 健太郎	磯 部 大 樹
	量 子 物 性	磁 性 物 理 学	3d，4f電子に起因する新奇な量子現象や相転移の探索とそのメカニズムの解明および新物質の開拓。高圧力による物性制御。希土類元素の価数揺動現象，近藤効果，重い電子系。		光 田 暁 弘
		創 発 量 子 物 性	固体中の電子やスピンが示す多彩な量子凝縮現象（例えば非従来型超伝導，量子臨界現象，量子スピン液体など）の実験的研究。様々な計測手法と結晶/薄膜作製技術を駆使し，新奇な量子現象や素励起の探索，解明ならびに人工制御に関する研究を行う。	笠 原 裕 一	
		固 体 電 子 物 性	ナノスケールで人工的に微細形状制御された伝導体，磁性体，超伝導体，及び，それらの複合構造において発現する新奇量子物理現象の実験的探索。	木 村 崇	
		光 物 性	光学的手法を用いた量子物質・量子現象の実験的研究。テラヘルツ時間領域分光や第二高調波発生（SHG）等の非線形・超高速分光技術を開発し，超伝導やスピン系における集団励起，対称性の破れ，トポロジカルソリトンの物理を時間軸とエネルギー軸の両面から解明する。		中 村 祥 子
	複 雑 物 性	複 雑 物 性 基 礎	ソフトマター・生命現象・粉粒体など非線形・非平衡複雑系に関する実験・シミュレーション・理論による総合的な研究。光・電気を用いた新しいメソスコピック物性測定法の開発および応用研究。	***木 村 康 之	
		複 雑 生 命 物 性	生体ソフトマターが代謝活動の下で生み出す複雑系，殊に，ガラス・ゲル・相分離状態が動的に複合・競合した系としての生命研究。細胞内において効率的なエネルギー代謝が実現する現象を，非平衡・非線形力学，情報(統計)熱力学の観点から探る。	水 野 大 介	

*は令和 8 年 3 月末日定年退職予定

**は令和 9 年 3 月末日定年退職予定

***は令和 10 年 3 月末日定年退職予定

****は令和 11 年 3 月末日定年退職予定

◆ 基幹教育院

高等研究院、稲盛フロンティアプログラム教員

(令和 11 年 3 月末で任期満了予定、更新の可能性有)

★印のついた研究グループは令和 8 年度は募集をしないので志望しないこと。

〔化学専攻〕

専攻	専門分野	研究グループ	研 究 内 容	教 員	
				教 授	准 教 授
化学専攻	無機・分析化学	錯 体 化 学	太陽光エネルギー変換、水素エネルギー製造、燃料電池などに関わる金属錯体を基盤とした光触媒反応、および酸化還元触媒反応の開発。特に、水の可視光分解反応を用いた人工光合成の研究。色素分子フタロシアニン類の金属錯体合成と電気化学的・分光学的特性の研究。新規かご型シリセスキオキサンの合成と機能性評価に関する研究。	**酒 井 健	小 澤 弘 宜 **岡上吉広(講師)
		錯 体 物 性 化 学	金属錯体を基盤とする新規な分子集合体の構造と磁性、電気物性及び機能の研究。動的構造と物性の相関の研究。外場応答性化合物の開発。多孔性化合物の吸着特性の研究。脂質膜と金属錯体による機能性空間の研究。異方的な場における新奇物性、機能の研究。	大 場 正 昭	大 谷 亮
		生 体 分 析 化 学	分析化学および有機化学を駆使した、膜タンパク質を含む生体膜における相互作用解析法の開発。超微量分析を目指したオミックス解析法の開発。これらの手法を、麻酔作用機構解明や薬物動態解析、疾病診断へと応用。	松 森 信 明	川 井 隆 之 鳥飼浩平(講師)
		分 光 分 析 化 学	超短パルスレーザーを用いた最先端の分光分析手段の開発とそれを用いた人工光合成、光触媒、有機エレクトロニクスなどの各種機能物質の動的過程、構造の実時間、分子レベルでの解明。	恩 田 健	宮 田 潔 志
		放 射 化 学	原子力分野のフロントエンドとバックエンド、原子炉水化学、核医学、あるいは核融合分野のフロントエンドに関わる放射性同位元素を含む金属元素の分離・濃縮化学。軽元素から超ウラン元素までの分離・濃縮機構に関する平衡論・速度論的研究と予測モデルの構築。		■立 花 優
		機 能 性 錯 体 化 学	エネルギー変換を担う機能性金属錯体に関する研究。特に、電気/光化学的な水素生成または二酸化炭素還元反応を駆動する分子性触媒開発。		\$ 山 内 幸 正
	物 理 化 学	分 散 系 物 理 化 学	両親媒性高分子、高分子ゲルをモデル化合物とした生体機能の分子物理化学的解明。生体由来高分子ゲル（眼球組織・軟骨）の構造・物性と機能の解明。高分子ゲルの表面摩擦のダイナミクス。	**安 中 雅 彦	槇 靖 幸
		理 論 化 学	分子及び分子集合体の電子構造と化学反応の理論的研究。特に、新しい電子構造理論の開発とその応用、溶液系/生体分子系のダイナミクス計算手法の開発と応用、量子コンピュータ上の量子化学計算アルゴリズムの開発。	中 野 晴 之	渡 邊 宙 志 渡邊祥弘(講師)
		量 子 化 学	質量分析法、レーザー分光法による原子分子クラスターの物性・反応性研究を基軸とするナノ物質科学の実験研究。	***寺 崙 亨	堀 尾 琢 哉
		光 物 理 化 学	分子科学、レーザー光学、情報科学の融合による新しい分子イメージング法の開発と先端材料・生細胞・生体組織の分子レベル可視化。	平松 光太郎	
		構 造 化 学	金属イオンおよび芳香族分子の溶媒中ならびに金属イオンと生体関連分子の相互作用に関する分光学的研究。		***大 橋 和彦
		ソ フ ト 界 面 化 学	ソフトな界面における界面活性物質の吸着単分子膜および脂質二分子膜の状態と構造に関するコロイド・界面化学的研究。	◆瀧 上 隆 智	
	有機・生物化学	触 媒 有 機 化 学	均一系触媒及び不均一系触媒を用いた有機合成、基礎化学品および炭素資源変換反応。不斉合成反応の開発と速度論的研究。	徳 永 信	山 本 英 治
		生 物 有 機 化 学	生物活性天然有機化合物の構造決定と全合成研究。作用標的分子の探索と生物活性発現機構の解明。生物活性分子の設計と合成を基盤とした構造活性相関研究。	大 石 徹	土 川 博 史
		動 的 生 命 化 学	有機合成化学と遺伝子工学の技術を共に用いて、タンパク質、核酸、糖鎖及び脂質が制御する生命現象を明らかにするケミカルバイオロジー研究。	堀 雄一郎	弓 本 佳 苗
		構 造 機 能 生 化 学	核内受容体およびオピオイド受容体のリガンド/受容体の相互作用と構造活性相関に関する研究。ハロゲン含有環境化学物質による核内受容体の転写制御および実験動物の活動リズム変化の分子機構解明。	松 島 綾 美	
		量 子 生 物 化 学	統計力学を用いた分子論的描像に基づく溶液の性質とそこでの化学反応の研究。特に表面及び蛋白質、核酸などの生体分子を舞台にして起こる、吸着（他分子の認識）、電子移動、光応答等の理論的研究。		秋 山 良
		生 体 分 子 化 学	生理活性物質の理論的分子デザイン法に関する研究、機能性ペプチドの開発研究、化学物質の酵素や受容体に対する結合性解析法に関する研究。	◆野 瀬 健	
		有 機 反 応 化 学	環境に適応した有機化合物変換反応に関する研究。遷移金属触媒とそれを用いた立体・化学・反応位置制御法の開発		◆内 田 竜 也
		生 体 触 媒 化 学	天然物合成経路における新規化学反応の探索。金属酵素、ラジカル酵素触媒機構の解明。酵素の精密機能制御による生体触媒の開発。		&牛丸 理一郎
		生 体 分 析 化 学 (兼 担)	有機化学および分析化学を駆使した、膜タンパク質を含む生体膜における相互作用解析法開発。生体膜を解析するための分子プローブ開発および生体関連分子の合成。これらの手法を、膜作用性薬剤の分子機構解明や創薬へと応用。	松 森 信 明	川 井 隆 之 鳥飼浩平(講師)
	先導物質化学	ナ ノ 物 性 化 学	化学、物理、生物の境界領域研究。金属・酸化物・半導体ナノ材料とソフトマテリアルとの界面における局所的な相互作用や協同現象の解明とその応用。プラズモン共鳴によるナノ光制御とバイオセンシング。	**☆玉 田 薫	☆有 馬 祐 介
		光 機 能 物 質 化 学	特異な光、磁気、電子、メカニカル機能を有する分子性物質の開発と物性の解明。光に応答する分子性機能物質の開発。光磁性体、光応答性量子磁石の開発。	☆ 佐 藤 治	
		ナ ノ 機 能 化 学	ナノスケール材料の創製（金属、合金、酸化物、錯体）と物質変換、エネルギー変換、物質貯蔵、イオン伝導、磁性、量子拡散に関わる新機能発現。	☆▼山 内 美 穂	▼小 林 浩 和
		構 造 有 機 化 学	新規バイ電子系化合物の合成と構造に関する研究。新規超分子集合体の構築機能に関する研究。光を用いる物質変換法の開発。		☆ 谷 文 都

**は令和9年3月末日定年退職予定

***は令和10年3月末日定年退職予定

◆ 基幹教育院

☆ 先導物質化学研究所

▼ ネガティブエミッションテクノロジー研究センター

■ アイソトープ統合安全管理センター

& 高等研究院、稲盛フロンティアプログラム教員

(令和12年1月末で任期満了予定、更新の可能性有)

\$ 高等研究院、稲盛フロンティアプログラム教員

(令和12年3月末で任期満了予定、更新の可能性有)

〔地球惑星科学専攻〕

専攻	専門分野	研究グループ	研 究 内 容	教 員	
				教 授	准 教 授
地球惑星科学専攻	流体圏・宇宙圏科学	太陽地球系物理学	太陽風－磁気圏－電離圏結合系における大域的プラズマ力学と各領域間相互作用過程の研究。		渡 辺 正 和
		宇宙地球電磁気学	太陽面から太陽風・磁気圏・電離圏・地球圏までの電磁気現象やオーロラなど宇宙天気現象の全地球的観測・解析・理論研究。	吉 川 顕 正	河 野 英 昭
		大気圏電離圏融合宇宙天気科学	地球惑星における大気圏・電離圏結合素過程（力学・化学・放射）の解明と宇宙天気予報への応用	Liu Huixin	
		大気流体力学	中層大気の力学や対流圏との相互作用に関する研究、および惑星大気を含む地球流体に関する研究。		**中 島 健 介
	流体圏・宇宙圏科学	大気流体モデリング	地球大気モデリング、中層大気及び超高層大気の数値シミュレーション、例えば大気大循環および大気波動に関する理論的研究。	***三 好 勉 信	
		気象学・気候力学	気象、気候システムに関する研究、例えば熱帯気象、モンスーン、温帯低気圧、台風、シビアストーム、雲物理、異常気象、大気海洋相互作用、気候変動等の研究。	*川 村 隆 一	望 月 崇
	固体地球惑星科学	地球深部物理学	地震学、地球電磁気学、及び固体地球惑星物理学の研究。	*金 嶋 聰	高 橋 太
		地球内部ダイナミクス	地球内部構造と地球内部ダイナミクスの研究。		吉 田 茂 生
		岩石循環科学	火山噴火のダイナミクス、岩石パターンの成因、マグマの発泡・結晶化・流動についての研究。変成岩を用いた地殻深部、上部マントルでの物理化学過程の研究。化学組成とそれに関連する理論に基づく岩石成因の解明。		池 田 剛
		地球進化史	堆積岩の形成過程及び島弧・変動帯の堆積作用とテクトニクスに関する地球史的研究。	尾 上 哲 治	****清 川 昌 一
		古環境学	古海洋と海洋沈降粒子の研究。	岡 崎 裕 典	
		火山科学	野外地質調査、物質科学分析、室内実験、数値計算に基づくマグマ活動と噴火メカニズムの研究	下 司 信 夫	
		観測地震・火山学	地震及び火山現象の観測に基づく地震発生・火山噴火過程の研究。	***※松 本 聡	※相 澤 広 記 ※江 本 賢太郎
		★地震火山減災科学	地震・火山災害の発災ポテンシャルを評価し、減災に役立てる研究。	*※松 島 健	
	太陽惑星系物質科学	惑星系形成進化学	理論物理学的手法、数値シミュレーション及び地球外物質の分析による太陽系及び系外惑星系の起源・進化の研究。	町 田 正 博	岡 崎 隆 司
		有機宇宙地球化学	有機物の前生命的合成や隕石有機物の解析による化学進化、古細菌の生物有機地球化学、有機物の同位体地球化学と生命環境。	*奈良岡 浩	山 内 敬 明
		地球システム化学	地球の形成から現在まで、また、地球の深部から表層まで、化学の目で地球を四次元的に調べる研究。	山 本 順 司	荒 川 雅
		地球内部物質学	高圧変形実験による地球内部の動的現象の解明、マントル対流と深発地震、岩石の破壊と流動、非平衡相転移、AE測定と放射光その場観察、惑星氷、衝撃変成隕石。	久 保 友 明	
	地球惑星博物学	地球惑星博物学	化石生物の古生態と形態進化の研究	@伊 藤 泰 弘	

*は令和 8 年 3 月末日定年退職予定
**は令和 9 年 3 月末日定年退職予定
***は令和 10 年 3 月末日定年退職予定
****は令和 11 年 3 月末日定年退職予定

※ 地震火山観測研究センター
@ 総合研究博物館

★印のついた研究グループは令和 8 年度は募集をしないので志望しないこと。

16. 2つの専攻横断型プログラム

理学府では、各専攻での専門教育に加えて、専攻横断型プログラムがあり、これら2つを重ねた重層的な教育を行っています。ここではこの専攻横断型プログラムについて説明することになります。

理学府は、国際的な場で活躍できる広い視野を持った先端的研究者と高度な能力と学識を備え社会の広い分野で活躍する高度な専門家を育成することを目的としています。この2つの人材養成目的に対応しているのが、2つの並列した専攻横断型大学院教育プログラム、「フロントリサーチャー育成プログラム」（以下、FRプログラム）と「アドバンストサイエンティスト育成プログラム」（以下、ASプログラム）です。理学府に入学した学生は、各専攻での専門的な教育に加え、全員がどちらかのプログラムに所属し、それぞれが目指す方向に合致した教育を受けることになります。専攻における高度な専門教育と専攻を横断した人材養成目的に応じた教育との調和ある重層的な教育により、社会が要請する多様な人材の養成を目指そうというのが、本教育システムの最大の特徴で、このような教育システムは国内の大学院では類を見ないため、様々な方面から注目を集めています。

FRプログラムは先端的研究者を目指す学生用のプログラムで、博士後期課程までの5年間の教育プログラムです。研究者にとって必要な資質を伸ばすための授業等が配当されるとともに、指導体制にも工夫を加えています。このプログラムの大きな特色として、まず指導体制が挙げられます。研究指導は主指導教員だけでなく、他の複数の教員（他専攻教員を含む）を含めた「学際的指導教員チーム」から受けることになります。これは、複数の教員の指導を受けることで、広い視点から研究を行い、また学生自身にも広い視野を持ってもらうために取り入れた体制です。授業科目としては、広い研究背景のなかで、自ら課題を企画し問題を解決する能力の養成を目的とする「リサーチマネージメント」や、これまでの研究を調査し、それらを論理立てて記述する能力を育てる「リサーチレビュー」、研究計画を立て、それをうまく発信できる能力をつけるための「リサーチプロポーザル」などの科目があります。さらに英語での発表や論文作成の力をつける「英語表現」などの科目もあります。海外・国内での学会発表を積極的に支援したり、学生が中心となったシンポジウムも奨励しています。このようななかで、21世紀を担う先端的研究者の養成を行おうとしています。

一方、ASプログラムは高度専門家を育成することを目的とし、その資質を伸ばすための授業等が配当されています。社会へ出る人が多いので、修士課程2年と博士後期課程3年のプログラムに分かれています。博士後期課程の内容はFRプログラムと共通な点が多いので、ここでは修士課程プログラムの主要なポイントだけを述べることにします。ASプログラムでも複数の教員からなる「指導教員チーム」が学生指導を行います。FRプログラム同様、複眼的な視点を身につけるようにしてほしいとの考えに基づいています。ただし、FRプログラムと違って、他専攻の教員は必ずしも含まれません。FRプログラム科目の「リサーチマネージメント」に対応する科目が「リサーチアドミニストレーション」で、セミナー等を通して問題点を自ら設定・解決する能力を養うことを目的としています。また「リサーチレビュー」も必修となっています。他のプログラム科目としては、「インターンシップ」、「広域基礎科学」、様々な分野の外部講師による「先端学際科学」などがあり、社会との接点を広く構築するために多様な科目が備えられています。さらに、年ごとに多彩に開設される大学院全体の共通科目から選択することも可能です。これらは大きな括りのなかで自由に選択することができ、様々な方面での高度専門家をを目指す学生個々の方向性に従い、色々な科目を組み合わせることで履修することができるように工夫されています。英語はアドバンストな「英語表現」（FR科目の「英語表現」とほぼ同じですが会話が重視されています）と一般的な「英語演習」のどちらかが選択できるようになっています。このように、カリキュラムに大きな自由度を持たせることで将来の職業を見越した科目選択ができるとともに、全体として高度専門家に必要な能力を涵養できるようになっています。

九州大学 入学検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

<https://e-shiharai.net/>



※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※クレジットカード・銀聯ネットは決済完了後の修正・取消はできません。
申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。



2 お支払い

セブン-イレブン

【払込票番号:13ケタ】

●レジにて
「インターネット支払い」と
店員に伝え、印刷した【払込票】
を渡すか、【払込票番号】を
伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

ファミリーマート

【お客様番号:11ケタ】 【確認番号:4ケタ】

マルチコピー機へ

↓
代金支払い

↓
番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】入力

ローソン・ミニストップ

【お客様番号:11ケタ】 【確認番号:4ケタ】

Loppiへ

各種サービスメニュー

↓
各種代金・インターネット受付

↓
各種代金お支払い

↓
マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】入力

ページ対応ATM

ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

「税金・各種料金(ページ)」

を選択

↓
収納機関番号に【58021】と入力

↓
【お客様番号】【確認番号】を入力

↓
支払方法を選択
(現金またはキャッシュカード)し、
検定料をお支払い

ページ対応ネットバンク

ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

ネットバンキングにログインし、

「税金・各種料金の払込(ページ)」

をクリック

↓
収納機関番号に【58021】と入力

↓
【お客様番号】【確認番号】を入力

↓
画面上で金額を確認し、
検定料をお支払い(口座引落扱い)

ネット専業銀行

楽天、auじぶん、PayPay銀行他

お申し込み確定画面から

『ネットバンクでの支払い』

をクリック

↓
支払う銀行を選択して、
インターネットバンキングにログイン

※一度、ブラウザを閉じてしまった場合は、E-支払いサイトの
「申込内容照会」からログインしてください。
その際には、1ケタのお客様番号が必要となります。

↓
払込内容を確認し、
検定料をお支払い(口座引落扱い)



※お支払いされるカードの名義人は、
受験生本人でなくても構いません。
但し、「基本情報入力」画面では、
必ず受験生本人の情報を入力してく
ださい。

Web申込みの際に、
支払いに利用するカードを選択
↓
画面の指示に従い、
支払手続を行ってください。

レジで代金を支払い、「入学検定料・選考料
取扱明細書」を受け取ってください。

支払い完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知
された「受付番号」と「生年月日」を入力して【**収納証明書**】を印刷してください。
※プリンタのある環境が必要です。 PDFにして出願システムにアップロードする。

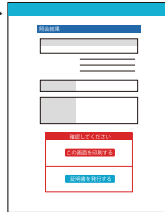
3 出 願

【コンビニエンスストア以外でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」に
アクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と
【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して**出願書類**
に同封して出願。PDFにして出願シス
テムにアップロードする。

＜注意＞
スマートフォンでお申込みされた方は、
プリンタのある環境でご利用ください。

※当サイトにてお支払いされた場合、
「取扱金融機関出納印」は不要です。

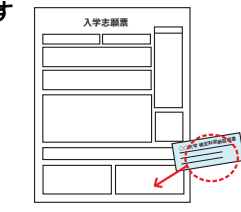


【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、
入学検定料収納証明書貼付台紙の所定欄に貼る。
をPDFにして出願システムにアップロードす
る。



※「収納証明書」を貼付する際には、糊本体の注意書きに
「感熱感圧紙などを変色させる場合があります」と記載
されている欄はご使用にならないでください。
「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



※コンビニでお支払いされた場合、
「取扱金融機関出納印」は不要です。

⚠ 注意事項

- 出願期間を要項等で確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時に支払いが完了します。23:00までにお手続きしてください。
- 「入学検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 一度お支払いされた入学検定料は返金できません。

- セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート以外でお支払いの方は、支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、【**収納証明書**】を印刷して**出願書類に貼付してください**。PDFにして出願システムにアップロードしてください。
- 「申込内容照会」で収納証明書が印刷できるのは、セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート以外でお支払いされた場合に限りです。
- 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 銀聯でお支払いの方は、パソコンからお申込みください。(携帯電話からはお支払いできません)
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる可能性があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

(物理学専攻の自己推薦入試志願者のみ)

20 年 月 日

入 学 確 約 書

九州大学大学院理学府長 殿

私は、九州大学大学院理学府修士課程物理学専攻の自己推薦入試に合格した場合は、貴学府の物理学専攻へ入学することをここに確約します。

受験番号※： _____

氏 名： _____

(注) ※欄は、記入しないでください。

(出願資格事前審査者のみ)

20 年 月 日

九州大学大学院理学府長 殿

(申請者) 大 学 名

(又は, 最終学校名)

学 部 名

学 科 名

現 住 所

氏 名

出 願 資 格 事 前 審 査 申 請 書

このたび貴学府修士課程入学試験に出願するに先立ち，出願資格の事前審査を受けたく，関係書類を添えて申請いたします。

(出願資格事前審査者のみ)

20 年 月 日

九州大学大学院理学府長 殿

大学 学部 学科長

推 薦 書

下記の者を，令和8年度九州大学大学院理学府修士課程学生募集要項出願資格に該当する成績優秀である者として推薦します。

記

在学期間 年度入学 年3月末日で か年

氏 名

要 件 3年次末までの，必要な単位を修得する見込みの者。

(出願資格事前審査者のみ)

令和8年度 九州大学大学院理学府

学校教育等履歴書

氏 名	生年月日	年	月	日生
-----	------	---	---	----

【学 歴】

学 校 名 及 び 所 在 地	正規の修学年数	入学及び卒業年月	学位・資格
学校名 所在地	年	入 学 卒 業	
学校名 所在地	年	入 学 卒 業	
学校名 所在地	年	入 学 卒 業	
学校名 所在地	年	入 学 卒 業	
学校名 所在地	年	入 学 卒 業	
学校名 所在地	年	入 学 卒 業	

注) 小学校から記入してください。
上欄に書ききれない場合には、A 4 用紙に記入して添付してください。

【職 歴】

勤 務 先	職 務 内 容	勤 務 時 間
		自 至
		自 至
		自 至

注) 虚偽の事項を記載し、又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

◆伊都キャンパスへのアクセス方法

福岡空港（もしくは博多駅）から地下鉄・JR・昭和バスを利用

地下鉄「福岡空港」駅（もしくは「博多」駅）→（地下鉄空港線）→「姪浜」駅でJR筑肥線へ乗換（乗換なしの便もあり）→「九大学研都市」駅下車，昭和バスへ乗換→「九大理学部」停留所下車

博多駅から西鉄バスを利用

「博多駅前A」バス停→「九大理学部」停留所下車

天神（地下鉄天神駅・西鉄福岡天神駅）から西鉄バスを利用

「天神ソラリアステージ前」バス停→「九大理学部」停留所下車

◆伊都キャンパス案内図（福岡市西区元岡 744）



お問い合わせ先：理学部等教務課学生支援係
TEL 092-802-4038